



チーム 新課程 学年主任

Supported by
ベネッセ文教総研

3月

のポイント

本コーナーはハイスクールオンラインの〈先生SNS〉のコーナーと連動しています。〈先生SNS〉では、詳細の情報・資料をご提供しています。また、先生方が直面される課題やその解決方法の共有の場としてもぜひご利用ください。

ハイスクールオンライン 〈先生SNS〉

<https://teacher.benesse.ne.jp/>



※ハイスクールオンラインのIDをお持ちでない先生は、校内でご確認いただくか、WEBサポートデスク0120-350124までご連絡ください。
【受付時間】月～金8:00～18:00/土8:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

ここからお入りください

ほかの先生に相談したい時は⇒相談室へ
使える資料で負担軽減⇒資料室へ



「先生SNS」サービス終了のお知らせ

「先生SNS」は、2023年3月25日(土)をもってサービスを終了させていただくことになりました。「チーム新課程学年主任」のコンテンツは、以下の場所に転載します。

● Benesse High School Online
TOPページ > 指導 > 新課程 > 指導と学習評価
※「過年度のピックアップを見る」で「2022年度」を選択してご覧ください。

第2学年に向けた準備・計画と、 次年度の第1学年への引き継ぎ

年度末になり、先生方におかれましては、通常のご校務に加え、高校入試への対応や年度末評価の指導要録への記載、次年度の年間計画の立案など、最もお忙しい時期ではないかと思えます。

特に、第1学年主任として、次年度の第2学年の年間計画や指導内容の検討に加え、次年度の第1学年主任の先生への引き継ぎのご準備などもされているところかと存じます。

この1年間、「チーム新課程学年主任」の活動として、ウェビナーや双方向の情報交換会などを開催して参りました。そこでいただいた先生方の声やアンケート結果などを基にまとめた、「新課程学年運営の指導デザイン」を、3月中旬にハイスクールオンラインにてリリースする予定です。

「新課程学年運営の指導デザイン」の内容としては、大きく2点あります。

1点目は、新課程初年度の解説です。新課程の特徴や大学入試の変化、新課程1期生の特徴などをまとめる予定です。

2点目は、新課程学年運営の年間計画例です。学年方針と年間計画例について、「一般選抜重視校」「学校推薦型・総合型選抜重視校」など、学校タイプ別の事例を複数ご紹介させていただく予定です。さらに、学校の教育活動や指導計画に合った内容にアレンジすることができるよう、加工可能なデータファイルをダウンロードする形でご提供しますので、今後の年間計画などの作成にご活用ください。

先生方とともに駆け抜けてきた1年でしたが、今後も、新課程1期生の成長を注意深く見取る先生方のお役に立つ情報を提供して参りたいと考えております。

3月中旬
リリース予定

新課程学年運営の指導デザイン

内容 (1) 新課程1期生の特徴 (2) 年間計画のポイント (3) 年間計画 実践事例

◎ 広島県・私立修道中学校・修道高校 新課程高校1年生版 年間計画(抜粋)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
進路 & 探究	二者面談 高校生活 放課後学習会 生徒との会話	大学の学部・学科 紹介の動画視聴	先輩の 合格体験記を読む	保護者面談 7/2～ ・文理選択について 大学研究室 訪問 7/9・10	夏期補習 ・国数英 既習範囲復習 ・大学入試に向けて 卒業生講演 8/19	二者面談 ・模試データ活 用 文理選択 ～10/28 ・定期試験・模試のデータを参考	進路講 10/ 保護者	進路探究 NHK探究
目標	自宅学習「最低2時間」 「Classi」からの学習情報にも注意			探究学習と教科学習の積み上げ 高校の既習範囲を自分で復習				
集団の成長曲線	3年間で【一番大切な期間】 この時点までに自学習2時間が身につけていないと、 学習時間・習慣は2年間変わらない!!!!!!			教え合う→高めあう 協動的な学習を通して 互いに高い志を持ち 集団としても成長する時期				
探究学習 (23コマ)	修道中学校・修道高校では、「進路 & 総合的な探究の時間の大きな流れ」 「指導目標」「集団の成長曲線」「探究学習の具体的な活動内容」「LHR の具体的な活動内容」など、教育活動を俯瞰できる年間計画を立案し、 教師間で共有した。							
LHR (23コマ)								
評価・検証	ルーブリック			アンケート1回目				

第2学年に向けた 準備・計画

新課程世代の 生活指導・進路指導へ

平井 学

静岡県・私立静岡学園中学校・高校

高校1学年主任



初めて学年主任となり、右も左も分からないところに、生徒の質の変化や働き方改革、「コロナ禍、そして新課程対応が加わり、まさに苦闘の日々でした。」「チーム新課程学年主任」で、同様の苦労をされている先生方の存在を知り、問題解決に向けて多くの気づきをいただきました。

学習評価の3観点は授業に限定するものではなく、生活指導や進路指導にも反映すべきものです。一方で、生徒が思考力や主体性を履き違えると、やすきに流れることになってしまふ恐れがあります。

この1年間の指導を振り返ると、特に生活指導の場面で、生徒の思考力や主体性を引き出す仕かけが足りなかったと反省しています。多様性を取り違え、忍耐力に欠け、自己中心的な行動をする生徒が増えていくように感じます。生徒の考えや主体性は認めながらも、誤りは正すことができるよう、2学年進級を前に、いま一度、生徒に求める人間性やあるべき姿を学年団で共有したいと考えています。

進路指導では、2学年、3学年と進級するに従って、大学入試という現実への落とし込みを意識しなければなりません。「総

合的な探究の時間」において、進路選択や進路実現の手段に有効に結びつけるプログラムをつくるのが喫緊の課題です。

また、思考力や主体性は、確実な知識・技能の上に成り立つものであり、大学入試の問題も知識がなければ解けません。新課程世代の生徒は、興味を持ったことには熱心に取り組むものの、地道な知識の積み重ねや、集中して学習に取り組むことが苦手であるように感じます。学習の基礎体力をつけることも忘れずに、バランスを取った指導をしていくつもりです。

生活指導、進路指導ともに、生徒一人ひとりの状態や適性を見極めながら伴走することが教師には求められます。働き方改革が叫ばれる昨今ですが、教師が生徒に対して負うべき責任や果たすべき役割は、新課程の下でさらに増大しています。学年の先生方が生徒の取り組みを見取り、丁寧な導きができる時間を確保できるようマネジメントすることが、学年主任の役割だと考えます。時に孤独を感じるポジションですが、「チーム新課程学年主任」の先生方から勇気と気づきをいただきながら、進んでいくつもりです。

第1学年への 引き継ぎ

探究を中心に活動を束ねる

「年間計画」づくり

野上 知宏

広島県・私立修道中学校・修道高校

高校1学年主任



「コロナ禍における学びの変化、そして教育課程の変わり目となった2022年度当初を振り返ると、先が見通せない不安の中、どのような教育プログラムが望ましいのか、どのような教育ビジョンを教師間で共有することが求められるのかといったことを、日々学年主任として模索していただよう思います。

また、本校での「総合的な探究の時間」での取り組みは、本校の生徒として身についてほしい価値観・スキルを定めたルーブリックを踏まえた初めてのものであり、実践がない中、手探りの状態でカリキュラムを積み上げた1年であったと思います。

本来であれば、学校行事や進路指導などを基に、年間計画を4月に示した上で、教師並びに生徒と、学年に所属する生徒が1つの集団として成長していく方向性について議論しなければならなかったのですが、その計画を立てることはできませんでした。

私の思いとしては、「総合的な探究の時間」を軸として、個々の生徒に「自己効力感」や「自己肯定感」を持たせる取り組みと、探究学習での協働的な学びを通して、

自分自身が導き出したテーマや課題に、しっかり向き合い、解決策を生み出す力を養う1年間にしてほしいということがあり、それを基本線に持つて企画を進めて参りました。

具体的には、「LHR」と「総合的な探究の時間」の計画を取りまとめたことにより、時間に余裕が生まれ、柔軟に対応できたと感じます。また、アンケート調査を行い、個々の自己評価の推移を見ることで、生徒たちの成長を確認し、教育ビジョンを教師間で確認することもできました。

さらに、動画などを用いて、教師間の意識統一、及び負担軽減などを図ることに伴い、進路指導においても新しい取り組みを行うことができました。

次年度、1学年団に所属される先生方の参考に少しでもなればという思いで、本校の年間計画を提供させていただきました(P.52)。改めて1年間を振り返っても、教科学習以外の面も含めた多面的な観点で、生徒たちの成長を見届ける必要性を感じた日々であったことは、間違いないと思っております。